

2017年12月13日

## 2017年 山のトイレを考える会からの活動報告

## 1. 美瑛富士・携帯トイレシステム試行3年目の実施

2016年に引き続き環境省東川自然保護官事務所等と美瑛富士トイレ管理連絡会（北海道の山岳9団体）が協働し、美瑛富士避難小屋に設置される携帯トイレブースの維持管理・点検パトロールを実施しました。点検パトロール予定日は荒天で中止の団体もありましたが、全部で8回実施することができました。

昨年は強風によりテント型ブースが倒壊し復旧しましたが、残念なことに今年も9月18日に、台風によって倒壊しました。

点検パトロール・維持管理を協働して頂いた道内山岳団体、イニシアチブをとって頂いた環境省東川自然保護官事務所、そして回収ボックスの維持管理、使用済み携帯トイレの処分を引き受けて頂いた美瑛町と上富良野町の関係者の皆さまに感謝申し上げます。



美瑛富士避難小屋の仮設携帯トイレブース



今年も強風によりブースが倒壊

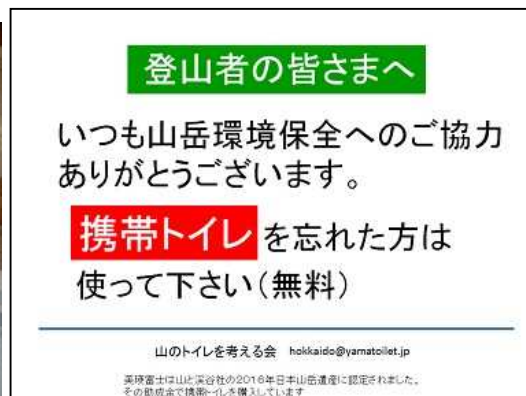
## 「2017年 点検パトロール実施結果」

6月26日（月）	ブース設置（環境省 他）	8月27日（日）	道北地区勤労者山岳連盟
7月 9日（日）	白老山岳会	9月 3日（日）	道央地区勤労者山岳連盟
7月23日（日）	大雪山国立公園 PV 連絡会	9月13日（日）	北海道山岳ガイド協会
7月29日（日）	札幌山岳連盟	9月17日（日）	日本山岳会北海道支部
8月 6日（日）	北海道山岳連盟	（台風で中止）	
8月20日（日）	山のトイレを考える会	9月24日（日）	ブース撤去（環境省 他）

また、美瑛富士避難小屋に無料の携帯トイレを配備（150個用意）し、携帯トイレを忘れた登山者に使用してもらおう試みを行いました。期間中、108個が持ち出されました。ティッシュや汚物の散乱減少と認知度向上に寄与したと考えています。



無料携帯トイレの小屋内配備



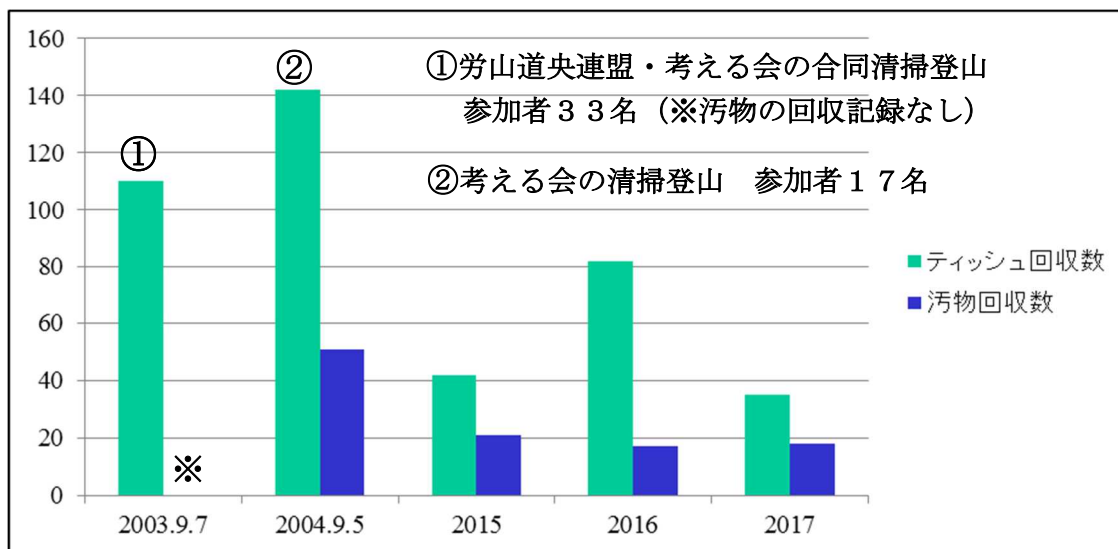
無料携帯トイレについての掲示

## 2. 美瑛富士のティッシュは減ったか？

2015年から試行実施して3年目が終わりました。果たしてティッシュや汚物の散乱は以前と比較して減ったのでしょうか。下図グラフの①は2003年9月7日の合同清掃登山でティッシュ110個回収、②の2004年9月5日の清掃登山ではティッシュ142個、汚物51個の回収でした。

この3年間の回収数は①と②と比較すると減りましたが、激減したとは言えません。来年はどうなるのか注視していかなければなりません。携帯トイレの所持率を上げ、ティッシュは持ち帰る！を広報する地道な啓発活動を続けなければならないと思います。

(図) 美瑛富士避難小屋のティッシュと汚物の回収数推移



## 3. 協定書の締結

上川中部森林管理署と北海道地方環境事務所上川自然保護官事務所、美瑛富士トイレ管理連絡会とで「美瑛富士における携帯トイレブースの設置及び調査に関する協定書」を締結しました。

締結式は6月23日、上川中部森林管理署にて行いました。この取り組みに携わる3

者が、携帯トイレブースの設置及び調査を相互に連携協力して一層円滑に進めるための協定書です。

美瑛富士トイレ管理連絡会を代表して事務局の仲俣が出席しました。

当日は、NHKのほか北海道新聞、朝日新聞から取材を受け、NHKニュースや新聞で報道されました。



協定書の締結式（6月23日）

#### 4. トムラウシ南沼汚名返上プロジェクトに協力

1) 十勝総合振興局環境生活課が事務局になって発足した「大雪山国立公園新得地区登山道維持管理連絡協議会 山岳トイレ環境対策部会；トムラウシ南沼汚名返上プロジェクト」の構成メンバーとなりました。7月29日、トムラ南沼でのアンケート調査とティッシュや汚物の回収を行いました。



トムラウシ南沼のアンケート調査



ティッシュと汚物の回収

2) 大雪山国立公園上川地区登山道維持管理連絡協議会（以下協議会）との協働

協議会にお願いして白雲岳避難小屋用に携帯トイレ250個を考える会から提供しました。必要とする登山者(トムラウシ南沼方面縦走者等)から協力金を頂いて提供し、所持率を向上する試みです。

今シーズンの結果は、最初に100個携帯トイレを荷揚げして頂いたのですが、登山者へは23個の提供にとどまりました。管理人さんのお話では「思ったよりトムラ方面の登山者の携帯トイレの所持者が多い」とのことでした。

かなり在庫がありますが来年も実施可能ならば、引き続き協力をお願いしたいと考えています。

3) 東川町大雪山国立公園保護協会（以下保護協会）との協働

旭岳ロープウェイ姿見駅で、特に縦走登山者(トムラウシ南沼方面等)に対し携帯トイレの所持を呼びかける施策を実施しました。

保護協会から登山者へのレクチャーを受託しているNPO法人大雪山自然学校に啓発用のパネルを作成して頂きました。

姿見駅では携帯トイレを販売しています。年間、約4,800回レクチャーの中で携帯トイレの所持を呼びかけて頂きました。



姿見駅のレクチャーパネル

## 5. 2017全道一斉山のトイレデーを実施

9月3日、全道各地の登山者と共に山のトイレデーを実施しました。今回で17回目です。9月3日以外の日にも多くの方が都合に合わせて参加して頂きました。

北海道の28箇所の登山口で、山のトイレマナー袋やトイレマップを配布、ティッシュやゴミを拾う清掃登山を行いました。参加者は73名。山のトイレマップ136部、山のトイレマナーガイド306部、山のトイレマナー袋376袋、マナーカード33枚を配布することができました。



塩谷丸山でのトイレデー



利尻山でのトイレデー

## 6. 山のトイレフォーラムの開催通知

第19回目となる山のトイレフォーラムを2018年3月10日(土) 午後に札幌市のエルプラザ2F環境研修室1・2で開催する予定です。

プログラムの内容やスケジュールは別途ウェブサイトや案内チラシ送付等で周知いたします。

以上